

林大臣の VUB-CSDS ジャパンチェアローンチング・イベント挨拶
令和4年10月24日（月）

ルイス・シモン VUB-CSDS 所長、
エヴァ・ペイショヴァ シニア・フェロー、
御列席の皆様、

日本政府を代表して、欧州の首都、ブリュッセルにおいて、
欧州で最も有力なシンクタンクの一つである ヴュービー・VUB-
シーエスディーエスCSDS に、日本の政治・外交政策の理解を促進するための
チェアが設置され、チェア・ホルダーにペイショヴァ研究員が
任命されたことに心からお祝い申し上げます。

また、コロナ禍を乗り越えて、本日、ローンチング・イベン
トが開催される運びとなりましたことにも、お祝い申し上げ
ます。健全な政策は、多様なアイデアと自由な議論から生まれ
ます。また、政策に対する国民の理解と支持を得るには、国
内外に向けた正しい情報発信が重要です。これらを進める上
では、有力なシンクタンクとの連携が不可欠と考えます。

シーエスディーエスCSDS は、これまでも国際交流基金の支援により「ジャパ
ン・プログラム」を実施する等、日本と具体的な協力を進めて
います。こうした取組を一層強化していただきたく、日本政府
は、シーエスディーエスCSDS にジャパンチェアを設置するための資金を拠出
することとしました。シーエスディーエスCSDS との協力関係を更に強化でき
ることをうれしく思います。

ご列席の皆様、私たちは、今日、歴史の転換点にいます。私自身、本年4月にブリュッセルを訪問し、日本の外務大臣として初めてNATO外相会合に出席しました。ロシアによるウクライナ侵略は法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序を根幹から揺るがす暴挙です。会合で私は、欧州とインド太平洋の安全保障が不可分であり、同志国やパートナー国との連携強化がこれまで以上に重要である旨強調しました。日本と欧州諸国、EUやNATOとの協力は、今後新たな段階へと高めていかなければなりません。

インド太平洋地域でも、東シナ海や南シナ海を含め、力を背景とした一方的な現状変更の試みが続いています。中国では習近平指導部の3期目が始まり、その動向を国際社会が注視しています。北朝鮮も核・ミサイル活動を活発化させており、安全保障上の脅威が増しています。

国際情勢が大きく揺れ動いています。基本的価値と利益を共有し、諸課題に取り組む意思と能力も持つ日欧が協力していくことは極めて重要です。欧州から見える国際情勢と、日本から見える国際情勢は必ずしも同じではありません。日本と欧州の双方の視点からとらえることで、諸課題や方向性が浮き彫りとなり、解決に向けた取り組みにつながると思います。

シーエスディーエス

C S D S のジャパンチェアにはこうした視点を踏まえ、時には我々の耳に痛いようなことも含めて意欲的な研究と発信を行っていただきたいと思います。

日本研究のハブとして、日本の国際貢献、日欧協力の可能性について世界の政策コミュニティへ発信し、世界中の才気溢れ

る研究者を含めて多くの親日家を育てていくことを期待します。

最後に、多くの関係者、とりわけ本日このジャパンチェアの船出に加わってくださった皆様が、今後もジャパンチェアに協力いただけることをお願い申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。